

# 汽車ポツポのおばちゃん

(現五年)  
氣仙沼・鹿折 三年 水戸 更

わたしには、鹿折と小々沙のおじいちゃん、おばあちゃんたちのほかに、もう一人とくへつなおばあちゃんがあります。その人は、鹿折のおじいちゃんのお姉さんです。しんざいまで鹿折からくわ駅の近くに住んでいたのです。

「汽車ポツポのおばちゃん」とおんなでいいます。

小さなころ、おばあちゃんが時をく表を見て、

「もう少して汽車が来るよ。」

と言ったら、わたしはおばあちゃんの手をとって、わくわくして待ちました。汽車がまごを通過する、二人で、

ポツポツ。

と言いながら、汽車のまねをして部屋をへぐる歩き回りしました。わたしはおばあちゃんのことのあたりになきついで、「線路は続くよどこまでも」を大きな声で歌ってこうしたするのが大すきでした。

だけど、その家はあのつ波で流されてしまいました。それで、わたしは夏までいっしょに住むことになりました。

また電気や水がこなかったとき、きゅう水車に行つて二人でならびました。配きゅう車が来たときには、パンやおにぎり、かんづめなどの重い物をいっしょに運びました。

たくさんの人がなくなったり、ゆくえ不明になったりしたけれど、八十才のおばあちゃんは、元気いっばいで、毎日みんなのために、ある材料をへかうしてはんを作つてくれました。それで、わたしも元気にならなくちゃと思つたようになりました。そして、もちつた水をペットボトルに分ける仕事など、自分ができることをがんばりました。

お父さんやお母さんが仕事で家に帰つてこられなるときでも、おばあちゃんとおしゃべりをしていると、さみしい気持ちもとんでいきました。四月八日に電気がついたときは、だき合つてよびました。

こんなおばあちゃんでも、地しんは大きいです。夜中に地しんがくるとびくびくと起きてみんもの上に正座します。そして、

「地しん、やんたごど。」

と言つて、ラジオにスイッチを入れます。わたしは、おばあちゃんにだきついで、

「おばあちゃん、大じょうぶだよ。」

と言つてあげます。

学校などで地しんがくる、(お)おばあちゃん大じょうぶかな。(と心配になります。

お父さんもおばあちゃんも近づくに家をかりました。わたしは、お父さんにおられたりすおと、なきながらおばあちゃんの家を走つて行き来す。おばあちゃん、

「大じょうぶ、なかなかおひなごだよ。」

と言つて、なまめつてくおます。おばあちゃんにさう言われると心がほつていて落さすおます。

九月のはじめ、わたしたちの小学校にJ.RのO.Bのみながんがいらつちやつて、畑に花のなえをうえました。けいとう、百日草、日日草は三百本以上ありました。道路そばにあなをあけてもちつてうえたら、短い花の道のようになりました。

おばあちゃんといっしょに見た線路はいつききゅうするかわからないけれど、J.Rの人たちは、わたしたちの小学校におうえんにきてくださいます。

おばあちゃんと汽車に乗つて、この花畑をながめているのをさうやうしてみました。

一本ずつならんだ短い花畑は、とてもかわいく、おばあちゃんはわたしに花の名前を覚えてくれています。わたしたちはまごをあけて、そよ風にふかれながら「線路は続くよどこまでも」を口ずさんでいます。

花うえの最後は、なんとJ.Rの人たちといっしょにこの歌を歌うことになりました。わたしは「ええっ」と思いました。J.Rの人とときに合わせて、おばあちゃんに教わつたように元気に歌つたら、何だか力がわいてきました。みんなもうれしそうに畑から学校につくまで歌いながら行進しました。

この歌はおばあちゃんとわたしをつなげ、今は学年の友だちやJ.Rの人たちともつなげてくれたような感じがします。わたしは、おばあちゃんと汽車を見ながら教える日が早く来ることをいなかと思ひます。

おばあちゃんは、今、わたしの家のおじいちゃんとおばあちゃんがかがをしたり、せ中をいたためたりしているのです。毎朝来て家事を手伝つてくれています。

「おはよう。」  
とらうおばあちゃんのげんかを開ける声を聞くと、わたしは何だかほつとします。

また、おばあちゃんは、わたしが学校に出かけるときにはかならず、

「一日一日を大切にしていね。」

と言つて、送り出してくれます。これは、しんざいの後から言つたようになります。

わたしはとつて「一日を大切にしよう」といふのは、やっばり勉強や運動をしつかりやることだと思つたのでおばあちゃんのお顔のためにも、がんばらなうえちゃ。(と思ひます。そして、これからは、わたしが話を聞いてもちつたり、何かをやつてもちつたりするだけであらう、おばあちゃんの役に立つようになりたいです。

そして、いつまでもおばあちゃんとわたしは「なかよし続くよどこまでも」でいられます。

(出典)

作文宮城60号特別編

「あの日の子どもたち」

-2011・3・11 東日本大震災記録集-

宮城県連合小学校教育研究会

国語研究部会 編